

平成 22 年度 活動の記録
(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

自然災害から身を守ろう!



平成 20 年 6 月に発生した岩手・宮城内陸地震から 2 年半が経ち、災害復旧はほぼ終了しました。関係機関の努力により、早期に復旧することができました。

一方、7 月には岩手町を中心に局地的豪雨による土砂災害が発生しました。年々、大雨が多発する傾向にあることから、土砂災害に対する警戒は更に強めていく必要があります。

雨等による土砂災害は、日々の準備により減らすことが可能です。我々は今後も減災に取り組んでいきます。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

業務実施の方針

平成 22 年度は、次の方針で事業を実施しました。

- ・ 調査研究、提案、研修活動等を通して、組織活動の活発化を図る。
- ・ 地域の問題解決を図るため、他団体からの受託事業を円滑に実施し、積極的な事業展開を図る。

活動概要

本年度の活動は、委託事業、土砂災害写真パネル展などを実施しました。岩手県からの委託事業である土砂災害防止法基礎調査説明会補助業務(住民意識調査)は、平成 22 年度で 5 年目となりました。説明会の実施担当者も増え、当 NPO 活動の大きな柱になっています。

岩手町、葛巻町、一戸町などでは、7 月 17 日夜の局地的な豪雨により土石流や山腹崩壊が発生し、住宅の浸水、農地や道路、橋の流出など、甚大な被害を受けました。8 月 30 日～9 月 10 日に岩手県庁で開催した土砂災害写真パネル展では、被災状況を紹介すると共に、県民へ注意を促しました。

本年度もまた、多くの方々にご協力いただきました。改めて感謝の意を表します。

実施した事業および主な活動

【土砂災害基礎調査説明会住民周知事業】

発注者：岩手県

実施日時：平成 22 年 7 月～平成 23 年 2 月

実施場所：大船渡市、陸前高田市、住田町、久慈市、野田村、普代村

概要：土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料発送と、説明会受付、説明補助、議事録の作成および住民の意識調査を行いました。



久慈市山形町での説明会は、7 月に近隣市町で発生した土砂災害状況を紹介することで、災害の恐ろしさをより深く理解して頂けました。説明会では次のような質問や要望、感想がありました。

【疑問・質問】

- ・ 土砂災害の発生予想雨量、基準雨量
- ・ 予想される被害の想定、規模
- ・ 過去の具体的災害事例
- ・ 基礎調査の具体的方法について
- ・ 危険箇所の位置確認

- ・ 警戒区域指定の手順
- ・ 指定されることによるメリット、デメリット
- ・ レッド、イエローゾーン内での具体的な規制やその他法令との関わり
- ・ 指定後の税等の減免措置や土地登記等の諸手続
- ・ レッドゾーンでの具体的対応方法

- ・ がけ地移転促進支援制度について
- ・ ソフト対策(警戒避難体制整備)の具体的内容
- ・ 災害発生土地所有者と災害の補償、責任との関係
- ・ 今回の説明会だけで区域指定しているのか
- ・ 区域指定後に解除は出来ないのか

【意見・要望など】

- ・ 危険箇所であることがわかってよかった
- ・ ハード対策充実の要望
- ・ 区域指定後の土地評価下落の懸念
- ・ 地元で認識している危険箇所と指定区域にズレがある



【岩手の土砂災害写真パネル展】

実施日時：平成 22 年 8 月 30 日～9 月 10 日 8:30～17:00

実施場所：岩手県庁 1 階 県民室

概要：防災の日に合わせて、岩手県県土整備部砂防災害課と共催で恒例の写真パネル展を行いました。今年はより多くの人に見てもらうために開催期間を 2 週間にしました。正面には、7 月 17 日の局地的豪雨による葛巻町と岩手町などの被災状況写真を展示しました。



2010 土砂災害写真パネル展開催にあたって

岩手県は厳しい自然条件から、洪水・土砂災害・地震や津波・火山噴火・雪崩災害などの自然災害が多く、長年にわたり県民に打撃を与えてきました。その中でも土砂災害は、尊い人命や財産が一瞬にして失われる可能性が高く、今もって予知予測が困難な災害です。

一昨年 6 月 14 日午前 8 時 43 分頃に岩手県内陸南部で発生した岩手・宮城内陸地震（M7.2）により、震源域である栗駒山（須川岳）周辺においては大規模な斜面崩壊、土石流、地すべり等による甚大な土砂災害が発生しました。本地震の死者は岩手、宮城、福島 3 県で 13 名、行方不明者は 10 名で、そのほとんどは土砂災害によるものです。

一方、ゲリラ豪雨と呼ばれている局所的集中豪雨が全国各地で頻発しています。昨年 7 月 21 日、山口県防府市では、集中豪雨により土石流が発生し、老人福祉施設が土石流に襲われ、一瞬にして数名の命を奪う悲しい事故が起こっています。また岩手県においても、今年の 7 月 17 日の集中豪雨により、岩手町ならびに葛巻町で土石流が発生し、住民の生活に多大なる影響を及ぼしています。

土砂災害に対する施設整備は全国的に遅れています。岩手県も同様で、県民が「安全で安心して暮らせる」ための社会資本整備は、まだまだ時間がかかります。今後は、住民みずから正しい防災の知識を持って危険を察知し、自主的に避難することが重要であると考えています。

災害写真展は、県内の土砂災害の被害状況や防災関係機関の取り組み等を紹介し、一人でも多くの県民の方に、防災に対する理解と意識を持ってもらうことを目的に開催しました。減災に向けて少しでもお役に立つことができると考えています。

最後に、災害写真展を開催するにあたって、ご支援くださいました岩手県砂防災害課ならびに、写真をご提供くださいました関係各位に厚く御礼申し上げます。

2010 年 8 月

特定非営利活動(NPO)法人 防災ネットいわて
理事長 井良沢 道也

◆ 賛助会員が増え、昨年度は下記の団体からご支援を頂きまして、誠にありがとうございました。

株式会社 菊池技研コンサルタント
株式会社 昭和土木設計
株式会社 総合土木コンサルタンツ
株式会社 藤森測量設計
社団法人 岩手県土木技術センター
東北エンジニアリング株式会社
北栄調査設計株式会社

(50 音順)

平成 22 年度 活動の記録 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)
平成 23 年 2 月 18 日 発行
編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20 TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892 E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp URL: http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni